

## ■ 大阪がめざす副首都の姿の再定義

大阪が、平時の日本の成長、非常時の首都機能のバックアップを担う副首都として、『東西二極の一極、さらに、複数の都市が日本の成長をけん引する新たな国の形』を先導。

### 経済

- ◆ 駆動力となるのが、商いのまちとして育んできた「民都」の力。これを最大限生かして、西日本の中枢拠点（分都）として、アジアとの交流（アジアの主要都市）のなかでグローバルに経済成長。
- ◆ 今後の成長には、都市として、経済産業のイノベーション、構造転換に向けた「チャレンジの後押し（ビジネス環境等）」と、「暮らしやすさ、働きやすさ、楽しさ（ウェルビーイング、社会課題解決）」を兼ね備えることが必要。
- ◆ この理念のもと「変革を先取りし、誰もがワクワクする都市」として、「国内外の若者や女性をはじめ多くの人々の新たなチャレンジ」で成長を成し遂げ、東西二極の一極をめざす。こうした取組により、『経済的ポテンシャル』を向上。

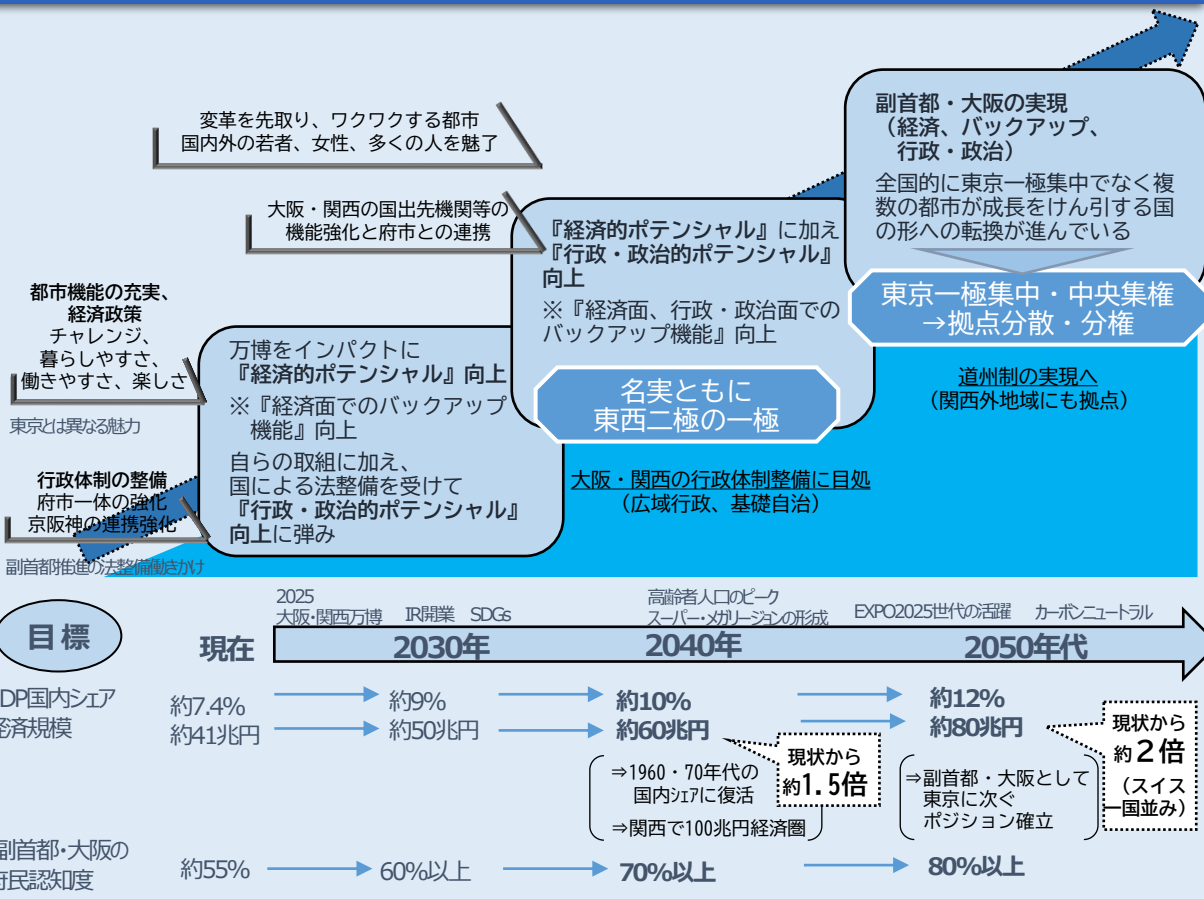
### バックアップ

- ◆ 大阪自らの安全・危機管理機能の強化のうえに、さらに、経済力を背景に、経済面、行政・政治面でのバックアップ機能を強化し、非常時に日本を支える『バックアップ拠点（重都）』として、名実ともに広く国内外の信頼を得る。

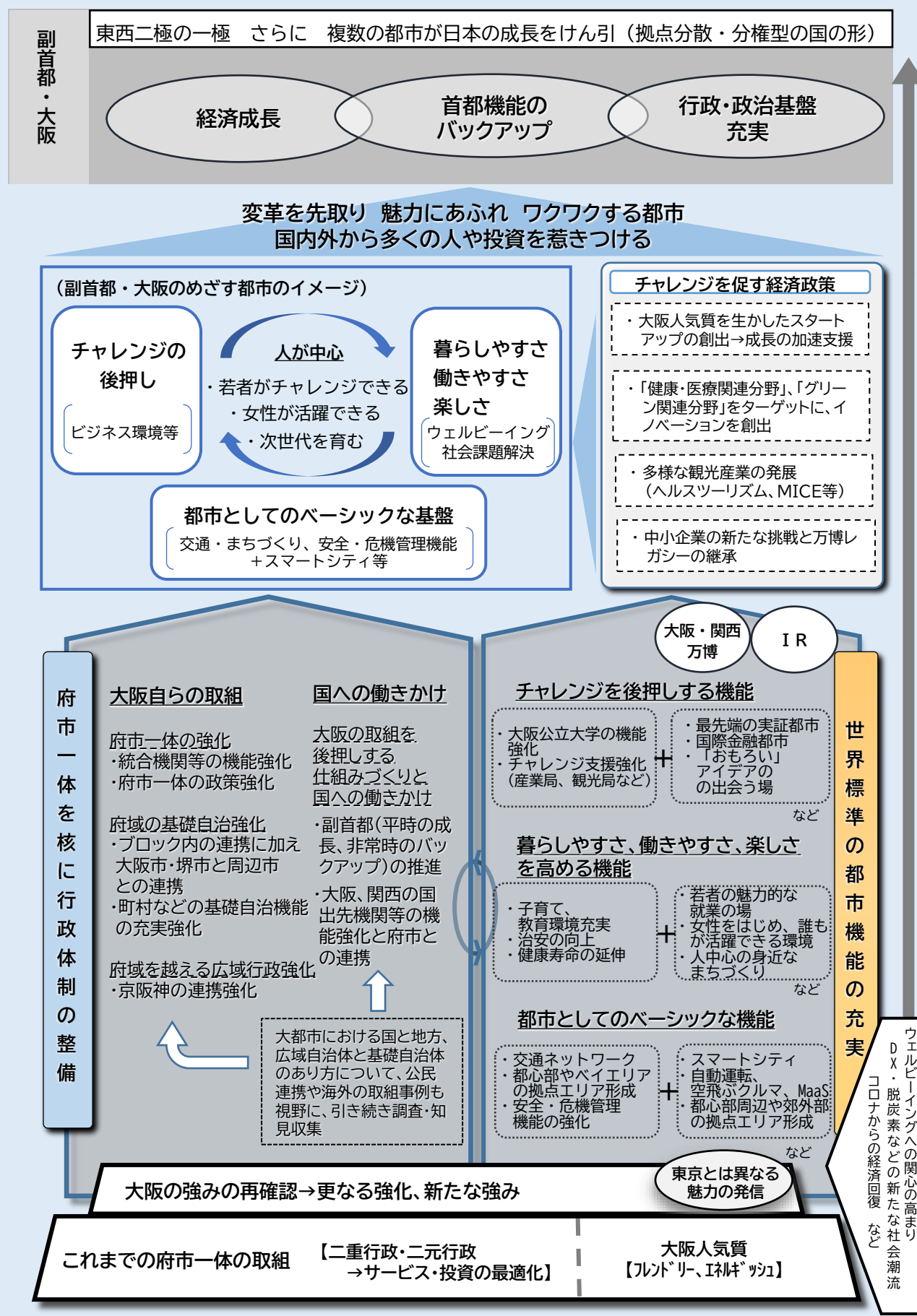
### 行政・政治

- ◆ 府市一体の強化と府域の基礎自治強化、将来の道州制を視野に入れた関西、とりわけ、一体の経済圏をなす京阪神の連携強化、さらには、大阪・関西の国出先機関等の機能強化と府市との連携を進める。
- ◆ 副首都推進（平時の日本の成長、非常時の首都機能のバックアップ）のための法整備について検討を深め、国にその実現を迫る。
- ◆ あわせて、引き続き、大都市における国と地方、広域自治体と基礎自治体のあり方について、公民連携や海外の取組事例も視野に、調査・知見収集。こうした取組により、『行政・政治的ポテンシャル』を向上。

## ■ 目標と戦略・工程の再構築



## ■ 副首都・大阪実現への全体イメージ図





## ■ 今後の取組の方向性（世界標準の都市機能の充実）

### チャレンジを後押しする機能

- 「最先端の実証都市」の確立（特区制度のフル活用）
- 大阪産業局、大阪観光局など  
オール大阪でのチャレンジ支援強化
- 「おもろい」アイデアの出会い場  
→スタートアップ、イノベーション
- 「チャレンジ、トライ&エラー」評価  
人材育成環境の構築
- 国際金融都市の実現（リスクマネーの供給）
- 大阪公立大学  
技術インキュベーション機能、  
都市シンクタンク機能発揮
- ビジネス共通基盤の整備  
ORDENの活用、人材育成、研究
- 人材マッチングシステム 成長分野へ人材流動

（最先端の実証都市の確立 イメージ図）



出典：大阪府・大阪市  
「大阪版方博アクションプラン（2022年12月改訂版）」

（「おもろい」アイデアの出会い場 イメージ図）

#### 【民間の取組事例：QUINTBRIDGE】

NTT西日本が運営。  
企業・スタート  
アップ・自治体・  
大学などと共に、  
「業界・地域課題の  
解決」と「未来社会  
の創造」をめざして  
いる。



### 暮らしやすさ、働きやすさ、楽しさを高める機能

- 人を惹きつける魅力的な就業の場づくり  
「チャレンジ、トライ&エラー」
- 子育て、教育環境の充実「次世代を育む」
- 人中心の身近なまちづくり  
「ウォーカブルシティ」
- 先端国際医療（スーパーシティ）
- 大阪観光局を核に国際観光都市の実現  
「クリエイティブシティ」
- 都市のみどりの充実  
「みどりに感じる大都市・大阪」
- カーボンニュートラルの推進  
その先の「カーボンネガティブ」へ
- 女性をはじめ、誰もが活躍できる  
環境づくり「働きやすさ+働きがい」
- 外国人をはじめ多様な人々が安心して暮らせる  
共生社会の実現「インクルーシブシティ」
- さらなる治安の向上
- 健康寿命の延伸「10歳若返り」

（クリエイティブシティ イメージ図）



御堂筋イルミネーション  
出典：（公財）大阪観光局HP



百舌鳥・古市古墳群（仁徳天皇陵古墳）  
出典：堺市HP

### 都市としてのベーシックな機能

- ミッシングリンクの解消  
淀川左岸線、高速道路ネットワーク
- 関西国際空港 大阪港 空港・港湾機能の高度化
- 都心部周辺や郊外部の拠点エリア形成
- 自動運転 空飛ぶクルマ MaaS（スーパーシティ）
- スマートシティの実現 ORDENの実装  
更なるデータ利活用
- 南北軸・空港アクセスの充実 なにわ筋線  
鉄道インフラの整備
- うめきた2期 新大阪 夢洲・咲洲  
都心部などの拠点エリア形成
- 水道 下水道 ごみ処理 生活インフラの最適化
- 消防 地震・津波対策 感染症対策  
安全・危機管理機能の強化
- 民都・大阪

（うめきた2期 イメージ図）



うめきた2期完成予定イメージ（提供：うめきた事業者）

（ORDEN イメージ図）



## ■ 今後の取組の方向性（府市一体を核に行政体制の整備）

「大阪自らの取組」と「国への働きかけ」の両輪で、副首都（経済、バックアップ、行政・政治）の実現に向けて行政体制を整備していく。

### 大阪自らの取組

#### 府市一体の強化

大阪・関西の中核となる  
府市一体が揺るぎな  
いものになるよう

- 府市統合機関の  
機能強化
- 府市一体の政策強化

- 引き続き、総合区の検討

府域の  
基礎自治強化  
府域を越える  
広域行政強化

中核市並みのサービスが  
提供できるよう

- ブロック内の連携に加え、  
大阪市・堺市と周辺市の連携
- 町村などの基礎自治機能の  
充実・強化

経済圏としての力を発揮  
できるよう

- 京阪神の連携強化

### 国への働きかけ

「大阪の取組を後押しする仕組みづくりと  
国への働きかけ」  
●副首都（平時の成長、非常時のバックア  
ップ）の推進 など

#### 【イメージ】

##### 考え方

- 副首都の実現に向けて、大阪の取組を  
効果的に後押し
- 副首都の位置づけだけではなく内実の獲得

##### 視点

- 大阪の自律性や創意工夫が十分に生かさ  
れる仕組み（国は大阪を支える役割に徹する）
- 複数の都市（圏）が日本の成長をけん引す  
る国の形への転換
- 対象地域、計画づくり、対象プロジェク  
ト、支援メニューなどをパッケージで構成

### 首都機能バックアップの取組

大阪自らの安全・危機管理機能の強化のうえに、さらに、経済力を背景に、平時にも非常時にも日本を支える拠点となるべく、首都のバックアップ機能の向上を図る。

#### 経済面の主な取組の方向性

首都圏企業に対する大阪での新たな拠点整備や  
既設拠点の機能強化、BCP上の代替拠点の位置  
づけを促進させるための働きかけ

既に大阪でバックアップ体制をとっている首都  
圏企業や国の指定公共機関等に対する、更なる  
経済基盤の充実・強化に向けた働きかけ

など

#### 行政・政治面の主な取組の方向性

副首都化に向けた大阪自らの取組を後押しする  
仕組みづくりと国への法整備の働きかけ

政府業務継続計画など、既存の国土・防災・非常  
時に関する法律や計画等における、バックアップ  
エリアとしての位置づけに向けた働きかけ

など

## ■ 今後の取組の方向性（チャレンジを促す経済政策）

- 大阪人気質（フレンドリー、エネルギー）  
を生かしたスタートアップの創出
- 健康・医療関連分野、グリーン関連分野を  
ターゲットに、イノベーションを創出

- スタートアップ成長の加速支援
- ヘルスツーリズム、MICE  
多様な観光産業の発展
- 中小企業の新たな挑戦と万博レガシーの  
継承

（ヘルスツーリズム、MICE 多様な観光産業 イメージ図）



ミライのヘルスケア体験  
出典：2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会  
「大阪パビリオン出展基本計画」

（スタートアップ成長の加速支援 イメージ図）



OIH スタートアップアクセラレーションプログラム  
出典：STARTUP ACCELERATION PROGRAM HP

今後の  
進め方

「副首都ビジョン」をオール大阪の指針として、大阪府、大阪市、堺市はもとより、府内の他の市町村や経済界、さらには、近隣府県、国とともに、一体となって、大阪の副首都化が推進されるよう、取り組んでいく。